



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社 荏原製作所

上場取引所 東 札

コード番号 6361 URL <http://www.ebara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢後 夏之助

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務統括部長

(氏名) 長木 健悟

TEL 03-3743-6111

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	257,601	△2.6	6,956	14.7	7,093	201.3	2,907	—
24年3月期第3四半期	264,349	△0.6	6,064	△70.3	2,354	△86.4	△930	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 3,512百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △3,781百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	6.88	6.68
24年3月期第3四半期	△2.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	441,431	155,132	34.1
24年3月期	488,964	154,653	30.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 150,538百万円 24年3月期 151,060百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	2.50	—		
25年3月期(予想)				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	397,000	△3.7	22,500	△3.3	21,500	2.0	10,500	263.4	24.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 荏原テクノサーブ(株)
(注)詳細は、添付資料P.4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10の5に該当するものです。詳細は、添付資料P.4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	423,086,658 株	24年3月期	422,899,658 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	699,718 株	24年3月期	689,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	422,364,783 株	24年3月期3Q	422,136,942 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. 補足情報	13
受注及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

《業績の全般的概況》

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、米国において緩やかに景気が回復していますが、ヨーロッパでは継続する金融システム不安から景気が低迷し、アジアでも、特に中国において成長の鈍化が見られます。国内では、公共部門の投資が底堅く推移し景気は緩やかに持ち直しているものの、先行きは依然不透明な状況です。

このような経済情勢のもと当社グループは、平成25年度を目標年度とする3ヵ年の中期経営計画「E-Plan2013」の第二年度として、①重点地域での“域産域消”を推進すると同時にグローバルな視点に基づく最適地生産及び製品供給体制を確立する、②中核事業の領域拡大により新市場への進出を図る、③科学的アプローチにより“ものづくり”プロセスの最適化を図る、④事業領域のグローバル化に即して本社機能を拡充する、という4つの基本方針のもと、より確実に安定した事業構造の確立に取り組んでいます。

当第3四半期連結累計期間は、前年同期と比べて受注高は増加したものの、売上高は、精密・電子事業の減少により減収となりました。営業利益は、精密・電子事業が減少しましたが、風水力事業、エンジニアリング事業の利益増により、全体としては増益となりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は2,576億1百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は69億56百万円（前年同期比14.7%増）、経常利益は70億93百万円（前年同期比201.3%増）、四半期純利益は29億7百万円（前年同期比38億38百万円の増加）となりました。

《セグメント別の概況》

(風水力事業)

ポンプ事業は、BRICsを中心とした新興国の電力市場における発電プラント案件、化学市場における肥料プラント案件及び石油・ガス市場における石油精製プラント案件が堅調に推移しています。国内においては、民間部門の建築設備市場は緩やかに回復しており、東日本大震災以降、低調に推移していた公共部門も回復が見られます。

コンプレッサ・タービン事業では、エネルギー需要の増加傾向を背景に中東及び中国等アジア地域での石油・ガス市場の案件が増加していますが、競合他社と厳しい受注競争が続いています。これに対し、日・米の両拠点を一体的に経営し、グローバルに展開する販売・サービス拠点のローカル化を一層進め、競争力を強めました。

冷熱機械事業では、国内市場は厳しいものの、中国市場が好調に推移しています。

当第3四半期連結累計期間における同事業の売上高は1,833億96百万円（前年同期比2.7%増）、セグメント利益は24億90百万円（前年同期比24.1%増）となりました。

(エンジニアリング事業)

エンジニアリング事業では、公共部門からの発注は廃棄物処理施設の維持管理(O&M)ではほぼ例年通りに推移しており、新規建設工事(EPC等)においては施設の更新需要に増加傾向が見られます。このような状況の中、EPCの技術力及びO&Mの全国サービス網を活用した一体運営をさらに強化し、市場環境と顧客ニーズの変化に的確に対応するための諸施策を推進しました。その結果、東日本大震災で発生したガレキ処理のための仮設燃焼炉の建設及び運転と、地方自治体向け一般廃棄物処理施設の建設工事をそれぞれ受注しました。

当第3四半期連結累計期間における同事業の売上高は305億10百万円（前年同期比5.1%増）、セグメント利益は28億46百万円（前年同期比54億58百万円の増加）となりました。

(精密・電子事業)

精密・電子事業は半導体市場において、スマートフォンやタブレット型携帯端末市場は新製品の販売などにより一時的に活気を見せましたが、パソコンやサーバ市場は依然として低調な状態が続いており、一部の大手ファウンダリを除き、デバイスメーカー等の設備投資が延期されています。さらに、フラットパネルディスプレイや太陽電池、LEDといった非半導体市場も、依然として低調に推移しています。このような状況の中、生産性向上によるリードタイム短縮や海外生産・海外調達を推進しました。

当第3四半期連結累計期間における同事業の売上高は424億9百万円（前年同期比15.0%減）、セグメント利益は10億42百万円（前年同期比82.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、仕掛品が91億93百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が372億46百万円、現金及び預金が155億29百万円それぞれ減少したことなどにより、前年度末に比べて475億33百万円減少し、4,414億31百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は、支払手形及び買掛金が243億96百万円減少したほか、短期借入金が102億13百万円、長期借入金が71億58百万円それぞれ減少したことなどにより、前年度末に比べて480億12百万円減少し、2,862億98百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、配当金を31億67百万円支払ったものの、四半期純利益29億7百万円を計上したほか、少数株主持分が9億39百万円増加したことなどにより、前年度末に比べて4億79百万円増加し、1,551億32百万円となりました。純資産から新株予約権と少数株主持分を引いた自己資本は1,505億38百万円で、自己資本比率は34.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績見通しについては、前回決算発表時から変更はありません。

《業績見通し》

()内は前期比増減

	連結業績	
売上高	3,970億円	(△3.7%)
営業利益	225億円	(△3.3%)
経常利益	215億円	(2.0%)
当期純利益	105億円	(263.4%)

《事業のセグメント別業績見通し》

()内は構成比

	売上高		セグメント利益	
風水力事業	2,850億円	(71.8%)	140億円	(62.2%)
エンジニアリング事業	480億円	(12.1%)	40億円	(17.8%)
精密・電子事業	620億円	(15.6%)	40億円	(17.8%)
その他の事業	20億円	(0.5%)	5億円	(2.2%)
全体	3,970億円	(100%)	225億円	(100%)

なお、実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には以下の事項があります。また、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

1. 市場環境
2. 大型プロジェクト及び海外事業
3. 事業再編等
4. 為替リスク
5. 金利変動リスク
6. 災害や社会インフラの障害発生にかかる影響
7. 繰延税金資産
8. 資材調達
9. 法的規制
10. 訴訟リスク
11. 土地売却費用増加リスク
12. 輸出債権回収リスク

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の特定子会社であった荏原テクノサーブ㈱は、平成24年4月1日付で、当社に吸収合併されたことにより消滅しました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却費の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

なお、この変更による損益への影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	84,955	69,425
受取手形及び売掛金	160,995	123,749
有価証券	2,856	3,875
商品及び製品	10,621	8,238
仕掛品	40,112	49,305
原材料及び貯蔵品	18,976	19,028
その他	28,837	28,403
貸倒引当金	△1,106	△952
流動資産合計	346,248	301,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	36,384	35,214
機械装置及び運搬具（純額）	21,391	21,200
その他（純額）	31,328	32,813
有形固定資産合計	89,104	89,228
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	22,236	21,289
その他	36,882	34,809
貸倒引当金	△11,075	△10,655
投資その他の資産合計	48,043	45,443
固定資産合計	142,715	140,357
資産合計	488,964	441,431

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	105,638	81,242
短期借入金	79,377	69,164
1年内償還予定の新株予約権付社債	—	20,000
賞与引当金	6,219	3,456
役員賞与引当金	119	156
完成工事保証損失引当金	5,359	4,094
製品保証引当金	1,712	2,148
工事損失引当金	8,757	6,599
土地売却費用引当金	1,849	1,846
その他	41,310	41,658
流動負債合計	250,345	230,367
固定負債		
新株予約権付社債	20,000	—
長期借入金	42,640	35,482
退職給付引当金	15,047	14,153
役員退職慰労引当金	201	162
資産除去債務	1,799	1,818
その他	4,275	4,313
固定負債合計	83,965	55,931
負債合計	334,311	286,298
純資産の部		
株主資本		
資本金	61,313	61,345
資本剰余金	65,243	65,275
利益剰余金	41,750	41,490
自己株式	△279	△282
株主資本合計	168,028	167,829
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,116	820
繰延ヘッジ損益	6	6
為替換算調整勘定	△18,090	△18,118
その他の包括利益累計額合計	△16,967	△17,291
新株予約権	438	501
少数株主持分	3,154	4,093
純資産合計	154,653	155,132
負債純資産合計	488,964	441,431

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	264,349	257,601
売上原価	208,693	197,552
売上総利益	55,656	60,048
販売費及び一般管理費	49,591	53,092
営業利益	6,064	6,956
営業外収益		
受取利息	123	123
受取配当金	272	266
持分法による投資利益	6	—
為替差益	—	562
貸倒引当金戻入額	—	520
その他	605	894
営業外収益合計	1,008	2,367
営業外費用		
支払利息	1,917	1,680
持分法による投資損失	—	234
為替差損	2,512	—
その他	288	314
営業外費用合計	4,718	2,230
経常利益	2,354	7,093
特別利益		
固定資産売却益	37	26
投資有価証券売却益	83	0
事業譲渡益	150	1
特別利益合計	270	27
特別損失		
固定資産売却損	18	169
固定資産廃棄損	66	51
投資有価証券評価損	139	47
関係会社整理損	168	45
出資金評価損	—	246
特別退職金	—	276
その他	57	15
特別損失合計	450	852
税金等調整前四半期純利益	2,174	6,268
法人税等	2,327	2,480
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△153	3,788
少数株主利益	777	880
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△930	2,907

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△153	3,788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△905	△294
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	△2,716	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	△2
その他の包括利益合計	△3,627	△275
四半期包括利益	△3,781	3,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,443	2,583
少数株主に係る四半期包括利益	662	928

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,174	6,268
減価償却費	9,207	8,524
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△42	△2
引当金の増減額(△は減少)	△6,696	△7,219
固定資産売却損益(△は益)	△18	143
受取利息及び受取配当金	△396	△390
支払利息	1,917	1,680
売上債権の増減額(△は増加)	28,781	37,325
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,014	△6,899
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,034	△24,430
その他	1,511	5,235
小計	9,389	20,235
利息及び配当金の受取額	729	707
利息の支払額	△1,692	△1,511
法人税等の支払額	△5,405	△4,088
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,020	15,343
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△5,870	△7,288
固定資産の売却による収入	183	36
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△3,241	△5,527
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	759	3,111
定期預金の預入による支出	—	△603
定期預金の払戻による収入	—	533
貸付けによる支出	△2,062	△2,376
貸付金の回収による収入	1,590	2,229
子会社出資金の取得による支出	—	△992
その他	86	309
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,554	△10,566

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,274	△3,839
長期借入れによる収入	279	915
長期借入金の返済による支出	△5,814	△14,788
社債の償還による支出	△20,000	—
自己株式の取得処分による収支	△8	△3
配当金の支払額	△2,110	△3,167
少数株主からの払込みによる収入	240	96
少数株主への配当金の支払額	△691	△84
その他	△407	△598
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,237	△21,469
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,053	153
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△32,825	△16,538
現金及び現金同等物の期首残高	104,002	87,294
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	311	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	71,488	70,756

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	風水力事業	エンジニア リング事業	精密・電子 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	178,503	29,021	49,879	257,403	6,946	264,349	—	264,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高	568	0	2	570	2,694	3,265	(3,265)	—
計	179,071	29,021	49,881	257,974	9,640	267,615	(3,265)	264,349
セグメント利益又は損失 (△)	2,006	△2,612	6,066	5,461	413	5,874	189	6,064

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビジネスサポートサービス等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	風水力事業	エンジニア リング事業	精密・電子 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	183,396	30,510	42,409	256,316	1,284	257,601	—	257,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	247	4	—	251	2,833	3,085	(3,085)	—
計	183,644	30,514	42,409	256,568	4,118	260,686	(3,085)	257,601
セグメント利益	2,490	2,846	1,042	6,379	485	6,864	91	6,956

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビジネスサポートサービス等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

受注及び販売の状況

① 受注の状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
風水力事業	198,828	207,517	278,182
エンジニアリング事業	35,346	43,162	51,270
精密・電子事業	43,493	41,070	61,721
報告セグメント計	277,669	291,751	391,175
その他	3,646	1,270	3,746
合計	281,316	293,021	394,921

② 販売の状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
風水力事業	178,503	183,396	286,089
エンジニアリング事業	29,021	30,510	50,128
精密・電子事業	49,879	42,409	68,373
報告セグメント計	257,403	256,316	404,592
その他	6,946	1,284	7,484
合計	264,349	257,601	412,076

③ 受注残高の状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
風水力事業	175,263	176,097	147,147
エンジニアリング事業	95,133	102,608	89,955
精密・電子事業	12,369	10,791	12,128
報告セグメント計	282,766	289,496	249,231
その他	2,698	2	17
合計	285,464	289,499	249,249

(注) 上記①～③の金額はいずれも販売価格によっており、消費税等は含んでいません。また、セグメント間取引消去後の金額です。